

FIREBALL

ファイアボール

Words & Music by R.Blackmore, I.Gillan, R.Glover, J.Lord & I.Paice

エレベーターのような機械音のS.E.からこの曲は始まっている。それに続くIntroの部分は、ドラムのソロ演奏だ。ここのドラムはかなり細かいビートを叩いており、少し複雑なリズム・パターンになっている。ここでは、バスドラを安定したリズムでキープすることがポイントとなるだろう。 国から他の楽器もスタートしている。 オルガンは、コードによるバッキングを行っているが、そのサウンドは、まるでギターのようにディストーションされたものになっている。 シンセでハモンドの音を再現して弾く時は、ギター用のエフェクターを使ってディストーションをかけてみても面白いだろう。 国の部分は、ギターとベースがほとんどユニゾンでリフを弾いている。この曲は少しアップ・テンポで演奏され

ているので、このリフの8分音符をきちんと正確なリズムでプレイするようにしよう。 ②の部分のギターは、譜面では音にスタッカートがつけられている。これは、右手で少し弦をミュートするようにしながら弾くとよいだろう。 ②のギター・ソロは、古いタイプのディストーションである "ファズ" がエフェクターとして使われているようだ。チョーキングは音程をはずすようにして、意識的に不安定なサウンドになっている。 ②のオルガン・ソロは、グリッサンドなどを多用して効果音的にプレイしているものだ。後半はエコー処理されており、ディレイをかけて弾くとよいだろう。 ⑤のオルガンは、一変してリズミカルに弾くようにしよう。









D Bm A

Вm

D Bm A

Bm

6



































NO NO NO

Words & Music by R.Blackmore, I.Gillan, R.Glover, J.Lord & I.Paice

この曲は、スロー・テンポの16ビートのリズムで演奏されている。Introは、ギターによる16ビートの単音リフだ。この部分は、音量をおとした静かめな演奏になっている。ギターのボリュームを少ししぼって、ディストーションさせないクリアなサウンドで弾くようにしよう。 国の部分からは、オルガンやベースもスタートしており、ここからはギターもフル・ボリュームで弾いている。オルガンも、ギターに合わせてディストーションぎみのサウンドでプレイしよう。ベース・ラインは、かなり細かい複雑なものになっている。ポイントは、1つ1つの16分音符を常に正確なリズムで弾くようにすることだ。ピッキングは細心の注意を払って、

きれいなサウンドで弾くようにしよう。回の部分のGt.IIは、ちょっとしたソロ・フレーズを弾いているものだ。この部分の譜面でスタッカートのつけられている音は、右手を使って弦をミュートするようにしながらピッキングするとよいだろう。回のGt.IIはスライド奏法を行っている。これは、ボトルネック・バーを左手の小指などにつけて弾いているものだが、ここはエコー処理されたサウンドになっている。ディレイをかけて弾くとよいだろう。チューニングはオープン・チューニングなどにしないで、普通のチューニングのまま弾いている。回の後半はノーマルな弾き方でのソロだ。ここも少し静かめな感じで弾いた方がいいだろう。



© 1971 by HEC MUSIC Rights for Japan controlled by Toshiba-EMI Music Publishing Co., Ltd.



































ANGE KIND OF WOMAN

Words & Music by R.Blackmore, I.Gillan, R.Glover, J.Lord & I.Paice

ミドル・テンポのヘヴィなシャッフル・ナンバー。ライヴでも 彼らが好んで演奏していた曲のひとつであり、比較的取り組み易 い内容になっている。ライヴではもっとラフな演奏が聴けるので、 『ライヴ・イン・ジャパン』など是非一度聴き比べてみて欲しい。 ギターはリッチーお得意の3連系リズムであり、彼にしてみれば かなりリラックスした雰囲気でプレイしている。 巨の3小節目、 アップ&ダウンなどは、さりげないテクながら、リッチーらしさ の基本パターンと言える。コツは3拍目のアタマの休符を確実に 休む事で、この時ピックは2弦に押し当てられた形になっている 事。その状態(ミュートされた)でチョーキングをしてからピツ

キング、という作業をほぼ同時に行えばよい。休符をしつかり演 ・・・・・ をする気持ちがポイントだ。キーボードは、やはりオルガン系の 使用が絶対条件であり、マーシャルによる自然な歪み感はファン ならずとも真似てみたいものだ。そこで、ギタリストが使う様な 「歪ませエフェクター(ディストーション、オーバー・ドライヴ etc.……)」の使用をおススメレたい。新しい発見がきっと有るハ ズ。ベースとドラムは、��のテンポ・チェンジ部分がポイントだ ろう。ハネたリズムながらスピーディかつ滑らかなテンポ運びは、 4ビート的アプローチを心掛ける事がコツ。



© 1971 by HEC MUSIC









I I

I'm

pride



– ery-bod-y toved_her I could ne-ver please_her

/.

-wed he in a hur - ry

loved her

100ked like a raver

finary said she love me

But

Em7

She loved __ ev -ery one and gave 'em good re _ On Wednesday __ mornings boy you can't go __ No __ more _ call-ers and I glowed with __

Bm



























Em7

Bm7

F#7(#9)









Em7



Fe Sea





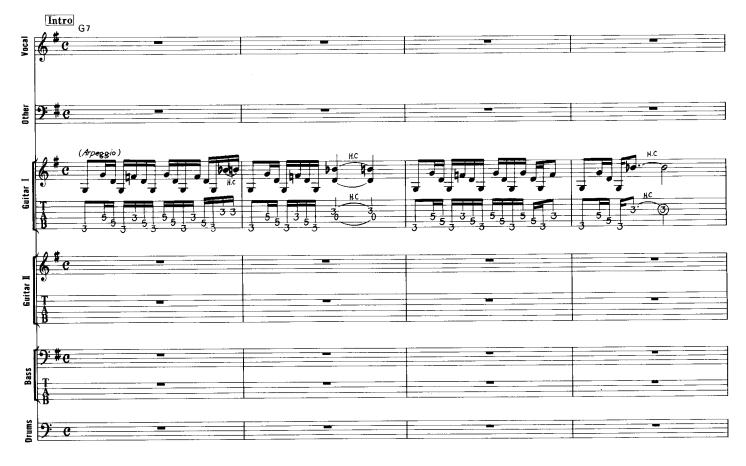
ANYONE'S DAUGHTER

誰かの娘

Words & Music by R.Blackmore, I.Gillan, R.Glover, J.Lord & I.Paice

この曲は最初の部分に、リハーサル風景と思われるS.E.ガ入れられている。譜面ではこの部分をカットして、ギターがアルペジオを弾き出した所からIntroとしてある。このギターだが、この曲ではディストーションさせずに、すべてクリアなサウンドで弾かれている。又、アルペジオ奏法の部分は、ピックを使わずに指で弾いた方が弾きやすいだろう。IntroのGt.Iのパターンは、6弦3フレットを左手の親指で押えるようにして弾くとよい。Introの部分はベースやドラムが入れられていないので、リズムには十分気をつけるようにしたい。このIntroの途中からスライド奏法のギターも重ねられている。これはボトルネック・バーを左手につけて弾いているものだが、リヴァーブを少し深めにかけて弾くようにしよう。四からベースとドラムもスタートしている。この曲の

ドラムはバスドラだけのプレイになっており、タンバリンは、パーカッションとして重ねてプレイされているものだ。囚からのピアノは、Introと同様のリズミカルなコード・プレイになっている。譜面では右手のパートだけになっているが、Introと同様のベース・パートを左手で弾くようにするとよいだろう。 国の最後に2小節のブレイクがあり、そのまま国のピアノ・ソロへと突入している。このプレイクはリズムがみだれないように注意したい。なお、このピアノ・ソロの部分は、すべて右手だけで弾いているものだ。なるべく力強い演奏を心掛けよう。 回はギター・ソロだ。ここは、1音1音しつかりとピッキングするようにして、ていねいに弾くようにしたい。















Em

You're a You're a She's a far - mer's daugh jud - ge's daugh luck - y daugh -

ter ter ter You're You're Such

G7

§ 9 ★

this that's hang-ing round ___my girl ___And there me in the car_come with __me __you hai-ry _bum __ Γ Il _ put you in __my man this __dumb _ and ___scraggy is ___Your __daugh-ter's ba-by's daddy.

4.





















ミュール

Words & Music by R.Blackmore, I.Gillan, R.Glover, J.Lord & I.Paice

この曲は、Introから迫力あるプレイを聴くことができる。ドラムのパターンは少し細かいリズムになっているが、ほとんど同じものを繰り返しているだけなので、思いきりパワフルに叩くようにしよう。ベースはIntroの4小節目からのスタートだ。この最初のフレーズはトレモロ・ピッキングの要領で、左手でグリス・ダウンさせるようにするとよい。もちろん、ピックを使ってプレイしなくてはいけない。Introの途中のGt.IIはアームを使ったプレイを行っている。アーム・アップができるように楽器のスプリングを調節して、フローティング状態にしておこう。 回ではオルガンとギターによるユニゾンのメロディーが弾かれている。 2 拍3連のリズムに気をつけて、ピッタリとそろえて弾くようにしたい。

図のボーカル部分では、ギターはアルペジオ奏法でバッキングを行っている。ここは少し静かな感じで弾くようにしよう。 図のオルガン・ソロは、少しエキゾチックな面白いフレーズを弾いている。ここは、ボリューム・ペダルなどを使ってフワーッとした感じに弾くとよいだろう。 図のギター・ソロは、力強いピッキングでリズミカルにプレイしよう。 回でもギター・ソロが弾かれているが、ここではディレイをかけてプレイするとよいだろう。 エンディングのドラムもかなりエコー処理されたものになっている。この曲のドラムは同じパターンの繰り返しになっているので、思いきってリズム・マシーンを使い、ディレイなどで人工的なサウンドを作ってプレイしてみるのも面白いかもしれない。



© 1971 by HEC MUSIC Rights for Japan controlled by Toshiba-EMI Music Publishing Co., Ltd.





















7.































FOOLS

フールズ

Words & Music by R.Blackmore, I.Gillan, R.Glover, J.Lord & I.Paice

非常に静かなIntroだ。ここは、各プレイヤーのボリュームをあとして演奏しよう。オルガン・ギター・ベースは、ユニゾンのフレーズを弾いている。ギターはオクターヴ奏法だ。ここは、指を使って軽くピッキングするようにしよう。 囚の部分も、やはり全体的にピアニッシモでの演奏だ。 ギターは、アルペジオ奏法の要領で弾いている。 囚から一転してパワフルなプレイだ。ここで各プレイヤーは、ボリュームを一気に上げるようにしよう。 オルガンやギターはディストーション・サウンドでの演奏だ。ここからのリズムは、16ビートと考えた方が良いだろう。ドラムのパターンなどは8ビートのもののようだが、ノリとしては16分音符を基本としたものだ。 □の部分のドラムは完全に8ビートのパターン

だ。ここはギターがヴァイオリン奏法で長いソロを弾いている。この奏法は、ギターのボリューム・ノブに右手の小指を当てながらピッキングし、少しずつボリュームを上げるようにするものだ。ストラト・タイプのギターでは問題なくプレイできるのだが、その他のギターの場合ボリューム・ノブに指がとどかない場合もある。その時はボリューム・ペダルを使えばよいだろう。コーダ部分のギターは、6弦の開放音をアーミングしているものだ。ここは効果音を鳴らすつもりで自由にプレイすればよいだろう。なお、この曲では、途中パーカッションとしてシェーカーが入れられているが、譜面では省略させてもらった。













































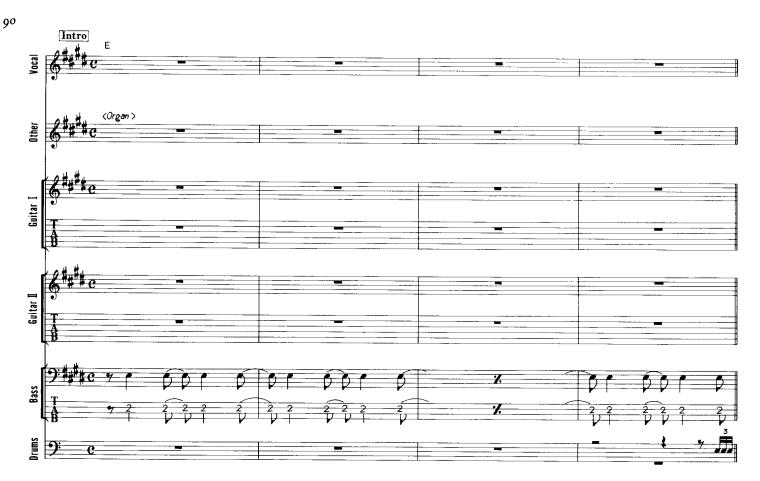
NO ONE CAME

誰も来ない

Words & Music by R.Blackmore, I.Gillan, R.Glover, J.Lord & I.Paice

Introは、ベースのビートからスタートしている。このフレーズは、ちょうどウラのリズムになっているので注意しよう。又、このベース・サウンドは、シンセ・ベースのようにひずんだサウンドになっている。ディストーションなどのエフェクターをかけて弾いてもよいだろう。国からのギターも、ハードなディストーションをかけてプレイしよう。Exionのコードは、弾いた後少レグリス・ダウンさせるようにするのがポイントだ。ドラムのパターンは8ビートのものだが、ハイハットのオープンとクローズを使って、シンコペーションしたリズムを叩いているので注意しよう。回の部分のギター・リフは単音によるものだ。ここは力強いピッキングを行うようにして、はぎれのよいサウンドでプレイしよう。こ

の曲は、ボーカル・メロディーが少し独特だ。かなり字あまりの歌詞が多いので、ほとんどラップのように歌っている部分がある。特に3番の歌は、あまりメロディーを気にせずに歌っているようだ。回のギター・ソロは、アームを多用して弾いている。譜面でチョーキングとなっている音でも、実際はアームを使ってアップしている可能性もあるので、どちらでも弾きやすいスタイルで弾いてもらいたい。コーダの2小節目で1度曲が終わっていながら、再び匠の部分がイン・テンポで始まっている。この部分は、繰り返し後テープの逆回転による効果音が入れられている。これは、おそらくテープを逆にしてギター・ソロを弾いているものだろう。









A E7 +9































